



2020年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）城戸 一弥
 問合せ先責任者（役職名）取締役 管理担当・人事担当（氏名）森田 徹 TEL 03-5331-5124
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

（百万円未満切捨て）

1. 2020年11月期第1四半期の連結業績（2019年12月1日～2020年2月29日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第1四半期	18,732	5.6	483	2.8	507	0.2	230	△19.2
2019年11月期第1四半期	17,744	2.2	470	△20.9	506	△19.9	285	△19.3

（注）包括利益 2020年11月期第1四半期 282百万円（△4.3％） 2019年11月期第1四半期 295百万円（△19.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第1四半期	14.48	14.45
2019年11月期第1四半期	17.92	17.88

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第1四半期	29,420	12,384	41.9
2019年11月期	28,633	12,246	42.5

（参考）自己資本 2020年11月期第1四半期 12,324百万円 2019年11月期 12,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2020年11月期	—	—	—	—	—
2020年11月期（予想）	—	8.50	—	8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 2020年11月期の連結業績予想（2019年12月1日～2020年11月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	36,280	1.6	630	△27.7	670	△28.0	230	△49.0	14.45
通 期	73,750	3.4	1,200	0.5	1,320	1.5	230	△29.3	14.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・ 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・ 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・ 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・ 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 有・ 無
 ④ 修正再表示： 有・ 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期 1 Q	16,770,200株	2019年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	2020年11月期 1 Q	852,675株	2019年11月期	852,675株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期 1 Q	15,917,525株	2019年11月期 1 Q	15,912,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年12月1日から2020年2月29日)におけるわが国経済は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、各種政策の効果もあって雇用・所得環境の改善が続く、緩やかな回復基調で推移しましたが、新型コロナウイルスの世界的な流行による世界経済の停滞、国内の消費マインドの変化など、先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動や、記録的な暖冬の影響、新型コロナウイルスの影響の拡大もあり、個人消費の減速傾向は止まらず、厳しい状況が続いております。

こうした経営環境のなか、当社グループは、2018年11月期からの3ヶ年について定めた中期計画『Next3』を推進しております。最終年度となります当連結会計年度におきましては、全社方針として定めております「選ばれる独自性の確立」のための差別化戦略を推進するとともに、当期の事業方針を『変化に対応する構造改革の実行』と定め、より収益性の高い出店を行いつつ、多様化する顧客ニーズに答えられる店舗づくりのために、100円の商品に加え、100円以外の価格帯の商品の販売開始準備を進めており、厳しい環境下においても収益を上げていける体制づくりに取り組んでまいりました。

出店・退店戦略では、大手法人企業との連携強化をはかり、フランチャイズ契約等による出店を推進し、商業施設・駅ビル等については直営店舗を主軸として出店を推進してまいりました。

また、計画的な退店も行いつつ店舗数の純増と収益拡大の実現に努めてまいりました。

新規出店実績は、13店舗(直営店7店舗、F C店6店舗)、退店が13店舗となり、店舗数は増減なしとなりました。これにより、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は1,050店舗(直営店719店舗、F C店323店舗、海外F C店8店舗)となりました。

商品戦略では、中期計画の全社方針「選ばれる独自性の確立」の核となるべく、引き続き商品のオリジナリティの更なる追求を推進してまいりました。

当期は、商品開発方針をニーズに対応する商品開発と定め、多様化するお客様のニーズに対応するため、100円以外の価格帯の商品の販売開始の準備を進めております。

また、商品のオリジナリティの更なる追求とSNS情報発信と情報分析による差別化戦略を引き続き推進してまいります。更に、物流や環境問題に対応するため、仕入先様と連携し、商品のクオリティを向上した商品開発に努めてまいりました。これにより、売上高に対する原価率は前年同期と比較して同水準の61.3%となりました。

販売戦略では、多様化するお客様のニーズに対応するべく、キャッシュレス決済の拡大と接客やイベントなどを充実させ、客単価の向上を図ってまいりました。

また、お客様目線での売り場作りの質の向上を図るとともに、当社独自キャラクター「はっ犬ワンドウ」の店舗への登場、参加型のイベントとして「ワークショップ」の開催、接客教育の見直しによる「新しい・楽しい売り場」をコンセプトに、主要店舗の戦略的なリニューアルを引き続き実施いたしました。

更に、本部主導での商品発注支援や、SNSと連動した陳列など、中長期的な視点での差別化の取り組みを継続して実施しており、働き方改革の推進による年末年始の店休や営業時間短縮が進んだことや、記録的な暖冬による冬物商品の売れ行き鈍化もありましたが、直営既存店売上高につきましては前年同期比で、102.7%となりました。

販売費及び一般管理費合計の売上高比率は前年同期と比較して同水準の36.1%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高187億32百万円(前年同期比105.6%)、営業利益4億83百万円(前年同期比102.8%)、経常利益5億7百万円(前年同期比100.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億30百万円(前年同期比80.8%)となりました。

各事業の経営成績は、直営店売上高165億11百万円(構成比88.1%、前年同期比104.7%)、F C店への卸売上高19億84百万円(構成比10.6%、前年同期比113.4%)、その他売上高2億36百万円(構成比1.3%、前年同期比107.3%)となりました。

なお、セグメントの実績については、当社グループは単一セグメントのため記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は294億20百万円であり、前連結会計年度末に比べ7億86百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「現金及び預金」が12億58百万円増加、「商品」が2億11百万円減少したこと等が挙げられます。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は170億35百万円であり、前連結会計年度末に比べ6億48百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「電子記録債務」が6億57百万円増加したこと等が挙げられます。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は123億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円増加いたしました。自己資本比率は41.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の業績予想につきましては、2020年1月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,190	5,448
売掛金	672	602
商品	6,085	5,873
未収入金	2,465	2,525
その他	711	636
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	14,101	15,063
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,403	5,399
その他(純額)	1,281	1,234
有形固定資産合計	6,685	6,634
無形固定資産		
	741	692
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,515	5,481
その他	1,603	1,564
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	7,103	7,030
固定資産合計	14,531	14,356
資産合計	28,633	29,420
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,929	3,831
電子記録債務	6,143	6,800
未払法人税等	366	261
賞与引当金	—	128
資産除去債務	49	8
その他	1,584	1,643
流動負債合計	12,074	12,674
固定負債		
退職給付に係る負債	1,934	1,948
資産除去債務	1,731	1,772
負ののれん	285	276
その他	361	363
固定負債合計	4,313	4,360
負債合計	16,387	17,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028	3,028
資本剰余金	3,066	3,066
利益剰余金	7,513	7,608
自己株式	△1,221	△1,221
株主資本合計	12,386	12,481
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△2	△2
退職給付に係る調整累計額	△206	△155
その他の包括利益累計額合計	△209	△157
新株予約権	69	60
純資産合計	12,246	12,384
負債純資産合計	28,633	29,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
売上高	17,744	18,732
売上原価	10,875	11,486
売上総利益	6,869	7,245
販売費及び一般管理費	6,398	6,761
営業利益	470	483
営業外収益		
受取事務手数料	8	3
負ののれん償却額	9	9
その他	20	13
営業外収益合計	38	26
営業外費用		
為替差損	0	0
雑損失	1	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	506	507
特別利益		
受取補償金	—	29
投資有価証券売却益	59	—
投資損失引当金戻入額	26	—
新株予約権戻入益	—	8
特別利益合計	85	37
特別損失		
固定資産除却損	27	20
減損損失	63	103
特別損失合計	91	123
税金等調整前四半期純利益	500	422
法人税等	215	191
四半期純利益	285	230
親会社株主に帰属する四半期純利益	285	230

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	285	230
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	6	0
退職給付に係る調整額	3	51
その他の包括利益合計	10	52
四半期包括利益	295	282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295	282
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。